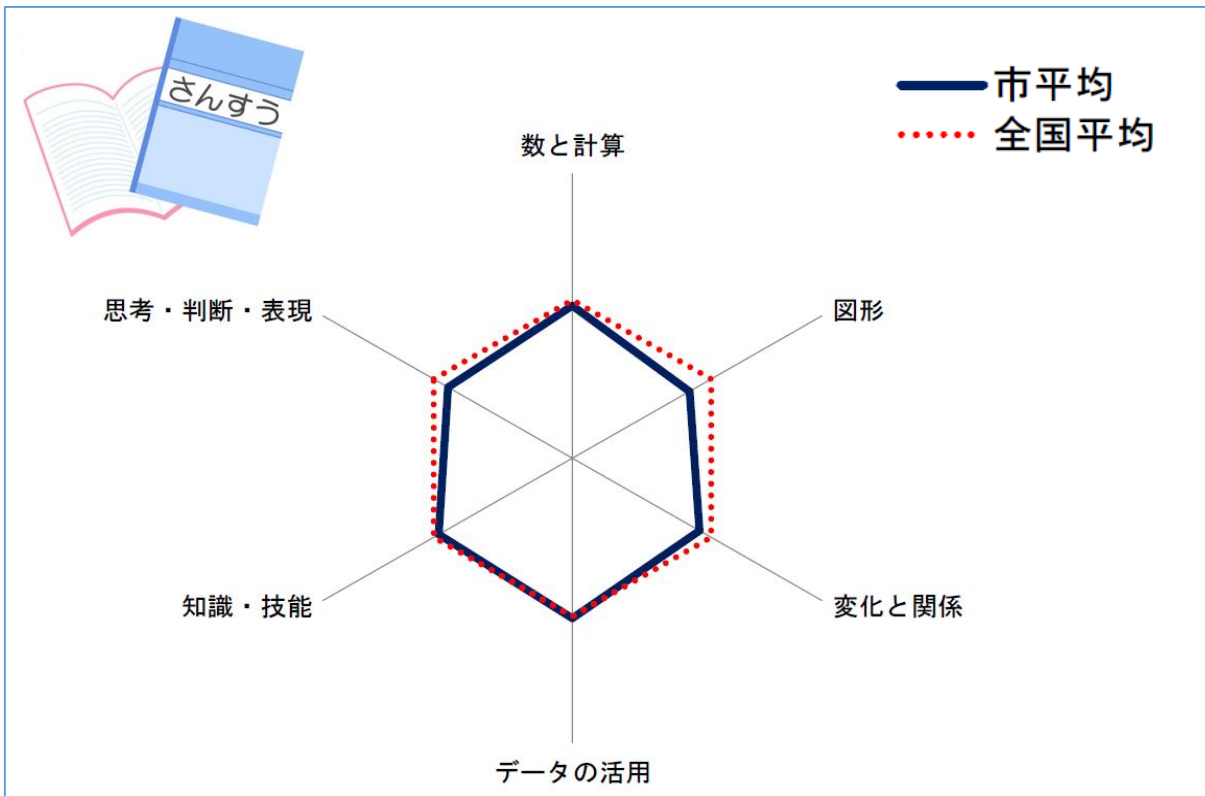




新居浜の小学生は、全体として「全国水準よりやや低い」調査結果でした。



よくできていた  
算数問題

表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める問題が大変よくできていました。

全国との比較からすると、評価の観点については、「知識・技能」の問題が「思考・判断・表現」の問題よりできている傾向にある。

どの問題についても無解答率が全国と比べて低く、粘り強く問題に取り組む姿勢が感じられました。

図形領域の正答率が低い結果でした。正三角形や三角形の面積の意味を問われた問題では、知識としての定着が必要であるとともに、長い問題文を読み、問題の意味を捉えなければなりません。授業においても類似の応用問題等に取り組みます。

伴って変わる二つの数量が比例の関係であることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを記述することに課題が見えました。授業の中で、筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさの求め方を説明できるような指導をしていきます。



結果を受け  
組んでいき  
たいから